

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

施策名 (小項目)	その他事務管理(戸籍等)	コード	作成者	役職	市民課長
		06-01-16	氏名	野上 茂之	
			電話	64-1818	

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	健全で自立したまちづくり
	中項目(基本施策)	簡素で効率的な行政運営
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	本市に居住する者又は本籍地を有する者を対象とし、戸籍法あるいは住民基本台帳法に基づく戸籍簿や住民基本台帳の管理、異動記録の整理及び各種証明等の発行	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	戸籍の電算化が稼働し、謄抄本の発行時間が短縮できており、他の申請関係業務もスムーズに行う取組みが必要である。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 市民が要求した証明書等の正確かつ迅速化 証明書の時間外交付(電話予約) 届出等における本人確認の確かな実施、厳格な個人情報の保護 	

施策構成事務事業の評価

担当課長評価

施策を構成する事務事業名	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	事業費(単位:千円)						優先順位 その他	
			H17		H18		H19			
			直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費		
1 戸籍事務	C	戸籍事務	法定事務	1,580		1,209	10,562			
		戸籍関係証明類交付事務	法定事務	2,243		2,329	6,584			
		埋火葬許可事務	法定事務	17		30	2,698			
		人口動態事務	法定事務	32		0	280			
		岡山県戸籍事務協議会負担金	ソフト事業	10		9	168			
2 住民基本台帳事務	C	岡山地方裁判所備前支庁管内市町協議会負担金	ソフト事業	55		55	332			
		住民基本台帳事務	法定事務	443		966	6,300			
		住民基本台帳関係証明類交付事務	法定事務	916		407	6,313			
		自動車臨時運行許可事務	法定事務	101		88	4,069			
		印鑑登録事務	法定事務	82		34	4,065			
		印鑑証明発行事務	法定事務	10		200	4,321			
		外国人登録事務	法定事務	118		11	7,396			
		外国人記載事項証明	法定事務	26		5	1,915			
3 住民基本台帳ネットワークシステム事務	B	外国人登録事務協議会負担金	ソフト事業	3		0	76			
		その他窓口事務	内部管理	149		1,334	233			
4 出産祝金事務	C	住民基本台帳ネットワークシステム運用事務	法定事務			362	1,966			
5 旅券発券事務	B	出産祝金事務	ソフト事業	2,620	629	2,490	1,389			
6 戸籍総合システム構築事業	B	旅券発券事務	法定事務			1,972	783			
7 合併調整事務	B	戸籍総合システム構築事業	ソフト事業			133,313	18,324			
		合併調整事務	ソフト事業	4,804	1,515					

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)

H17	H18	H19
94,483	222,588	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
市	証明書等の自動交付機導入	窓口での申請書記載が簡単になるとともに、交付時間も短縮されるので市民サービス向上になる
市	証明書関係の発行窓口の一本化	同じ窓口で証明書の発行が可能となり、市民サービス向上になる

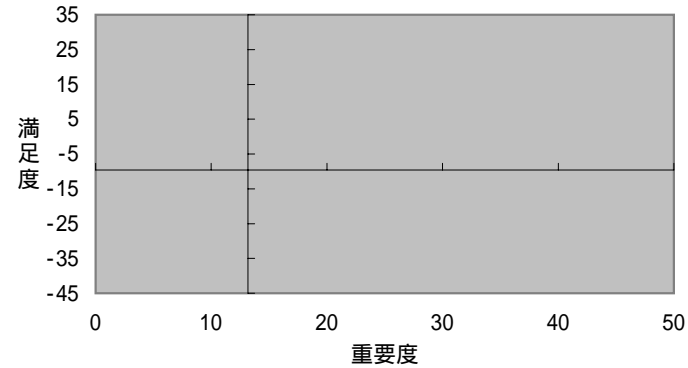
施策の評価

5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い

項目	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	3	戸籍電算化により発行時間は短縮できているが、市民満足度の向上に努めたい	3	戸籍の電算化により、スムーズな事務処理ができていないが、更なる職員のレベルアップを望む。
2 事業構成の適当性	3	法定事務が多くあり、妥当な事業である	3	事業は妥当であるが、本庁・支所のネットワーク化に伴い、事業の整理・統合を図る必要がある。
3 施策の有効性	3	有効な施策であり、特に旅券発券事務は市民に好評である	4	戸籍の電算化に伴い、窓口事務のスピードアップが図られ、ほぼ市民ニーズに対応できている。
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	窓口業務では、市民意識調査の結果を踏まえ、分かりやすい説明、親切な対応に一層心がける必要がある。本庁・総合支所の業務の見直しを行い、効率的な業務遂行を図る必要がある。		戸籍の電算化をテコにして、更に迅速な事務処理(新たなシステムの導入等)ができないだろうか。	
二次評価者コメント	組織のスリム化に対応できるよう、早めの体制づくりを望む。		平成20年度 予算の方向性 減配分	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)			
満足度(%)			



高	<見直し領域> その施策や事業が必要か否かの検討が必要	<維持領域> 現状の方向を継続
平均		
低	<検討領域> その施策や事業の存続の検討が必要	<強化領域> 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う

調査結果に対するコメント、市民の反応等	市民満足度が18年度より1.8ポイント良くなっている。(戸籍の電算化稼働)今後とも正確で迅速な業務の遂行に努めたい。
調査対象でない施策の場合は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度			目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H23	H28		
1 市の窓口での対応に満足している市民の割合	目標	%	60.0	60.0		70.0	80.0	市民意識調査
	実績	%	31.6	33.6				
	達成率	%	52.7	55.7				
2 諸証明の所要時間	目標	分	3.0	3.0		3.0	3.0	窓口事務の迅速化を図る
	実績	分	3.8	3.3				
	達成率	%	126.7	110.0				
3 戸籍登録事務1件あたりの平均所要時間(受付・審査・照会等含む)	目標	分	50.0	50.0		40.0	30.0	戸籍事務の迅速化を図る
	実績	分	65.0	60.0				
	達成率	%	130.0	120.0				
4 戸籍謄抄本等・住民票の写し・印鑑証明書の交付数	目標	件	72,673.0	74,481.0		75,000.0	75,000.0	市民が必要とする書類(数量の把握)
	実績	件	72,673.0	74,481.0				
	達成率	%	100.0	100.0				